

No 1 その他

	生物名	ヤマトイソユスリカ(幼虫)
	分類	節足動物門昆虫綱 ハエ目ユスリカ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	釣りの餌に使われたりします。 名前に「カ」が入っていますが、人を刺す蚊ではありません。
	備考	

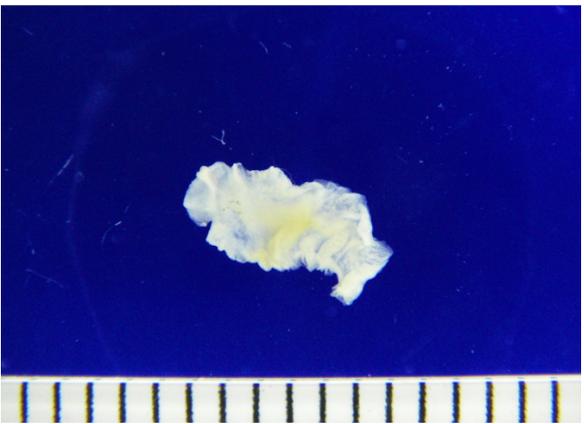
No 2

	生物名	マヒトデ(キヒトデ)
	分類	棘皮動物門ヒトデ綱 マヒトデ目マヒトデ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	規則正しい星形をしています。
	備考	

No 3

	生物名	イソギンチャク目
	分類	刺胞動物門花虫綱
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	干潟2段目の板や岩についています。
	備考	

No 4

	生物名	ヒラムシ目
	分類	扁形動物門ウズムシ綱
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	名前の通り平たく、石の下をはっています。
	備考	

No 5

	生物名	マナマコ
	分類	棘皮動物門ナマコ綱 楯手目シカクナマコ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	黒い体色のものも同じマナマコですが、赤いナマコはアカナマコという別の種類です。
	備考	

No 6

	生物名	タテジマイソギンチャク
	分類	刺胞動物門花虫綱 イソギンチャク目タテジマイソギンチャク科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	岩のくぼみに普通に見られます。
	備考	

No 7

	生物名	サンショウウニ
	分類	棘皮動物門ウニ綱 サンショウウニ目サンショウウニ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	サンショウの古木を思わせる殻模様から名前がついています。
	備考	

No 8

	生物名	ダイコンイソギンチャク近似種
	分類	刺胞動物門花虫綱 イソギンチャク目ウメボシイソギンチャク科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	ダイコンのような触手が多数あります。
	備考	

No 9

	生物名	イトマキヒトデ
	分類	棘皮動物門ヒトデ綱 アカヒトデ目イトマキヒトデ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	もっとも普通にいるヒトデです。赤っぽい 橙色の模様がよく目立ちます。
	備考	

No 10

	生物名	ナミノソカイメン
	分類	海綿動物門尋常海綿綱 イソカイメン目イソカイメン科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	小さな突起が多数あります。岩やカキ殻 をおおうように成長します。
	備考	

No 11

	生物名	ミズクラゲ
	分類	刺胞動物門鉢虫綱 旗口目ミズクラゲ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	主に春先から夏にかけてよく見られます。
	備考	

No 12

	生物名	アカクラゲ
	分類	刺胞動物門鉢虫綱 旗口目オキクラゲ科
	発見頻度	★★★☆☆
	職員のコメント	かさの部分にある褐色の放射模様が特 徴です。触手に強い毒があります。
	備考	

No 13

	生物名	カブクラゲ
	分類	有櫛動物門有触手綱 カブクラゲ目カブクラゲ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	よく見るとカブトの形をしています。
	備考	

No 14

	生物名	カミクラゲ
	分類	刺胞動物門ヒドロ虫綱 花クラゲ目キタカミクラゲ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	人の頭髪のように見えたのでこの名が付いたそうです。
	備考	

No 15

	生物名	イシワケイソギンチャク
	分類	刺胞動物門花虫綱 イソギンチャク目ウメボシイソギンチャク科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	有明海では食用にされているそうです。
	備考	

No 16

	生物名	ナミアゲハ
	分類	節足動物門昆虫綱 チョウ目アゲハチョウ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	よく見られるなじみ深いチョウです。
	備考	

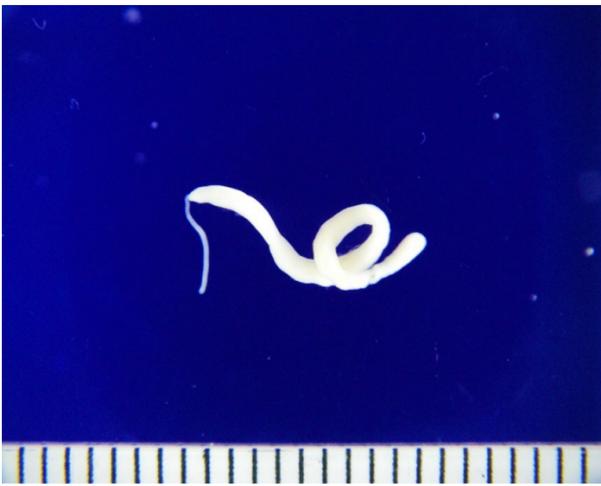
No 17

	生物名	シロボヤ
	分類	脊索動物門ホヤ綱 マボヤ目シロボヤ科
	発見頻度	★★★★★
	職員のコメント	2019/6/28 敷地内実験場にて発見されました。敷地内実験場にも潮彩の渚にも多く見られます。
	備考	

No 18

	生物名	ユウレイボヤ
	分類	脊索動物門ホヤ綱 マメボヤ目ユウレイボヤ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	実験場内に多く見られます。寒天質で透明な生物です。
	備考	

No 19

	生物名	紐形動物門の一種
	分類	紐形動物門
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	海岸の石の下や砂中に潜って生活します。深海を浮遊生活しているものもいます。
	備考	